

恵那市立上矢作中学校で防災講座を行いました

令和5年11月1日（水）、恵那市立上矢作中学校で1年生13名・2年生9名・3年生13名に防災講座を行いました。学校の近くには、平成12年の東海（恵南）豪雨で甚大な被害が発生した上村川が流れており、近くの山は土砂災害特別警戒区域にも指定されています。

講座では、東海（恵南）豪雨など過去に発生した水害などを学び、VRで浸水を疑似体験して水害の恐ろしさや実際に水害が発生した際に自分がとるべき行動について、理解を深めて頂きました。

皆さん、東海（恵南）豪雨については知っていましたが、「ハザードマップで自宅の浸水深を確認したことがありますか」と質問したところ、確認したことがない生徒さんが多くいました。これを機会に一度確認して頂けたら幸いです。

代表で挨拶した生徒からは、「VRで水害が起きたときの行動を学べたので、実際に起きたら避難したい。」「VRを通して学べたのが貴重な体験だった。普段からどう逃げるか家族で話し合いたい。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

